

2023 年度事業報告について

I. 事業

1. 概要

当協会は、海外展開に関係する幅広い業種を会員とする公益的事業を行う国内唯一の団体であることを踏まえ、個々の企業単独では実施が困難な事業、幅広く会員の協力が必要な事業、その便益が広く会員に及ぶ事業等を基本に、わが国鉄道の海外展開及び国際協力の推進に寄与するため、次のような事業を展開している。

- ① 海外展開推進のための啓発活動事業
- ② 日本の鉄道システムに関する情報発信事業
- ③ 海外鉄道に関する情報収集事業
- ④ 会誌発行等情報提供事業
- ⑤ インド高速鉄道軌道技術教育訓練・認証事業
- ⑥ インド高速鉄道信号通信技術支援事業
- ⑦ 人材育成・マッチング事業

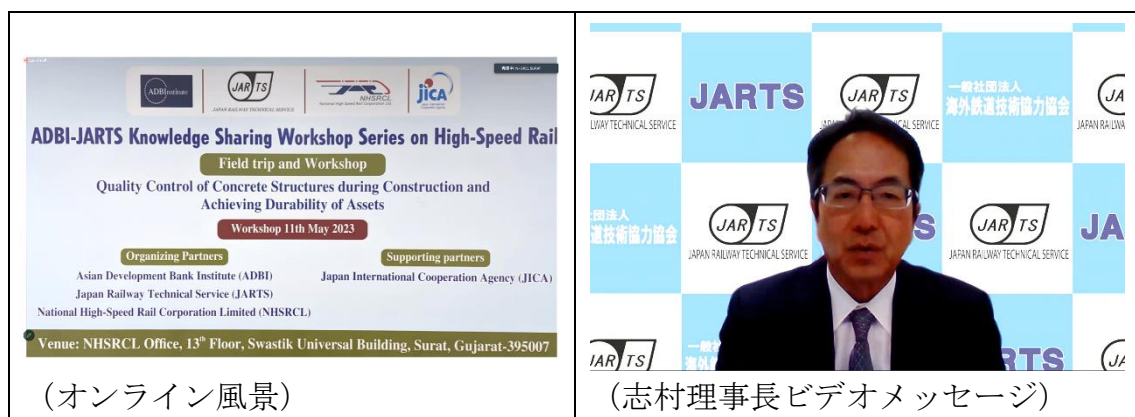
2. 個別事業の概要

2023 年度に実施した各事業の概要は、以下のとおりである。

(1) 海外展開推進のための啓発活動事業

ア. ADBI-JARTS Knowledge Sharing Workshop Series on High-Speed Rail
アジア開発銀行研究所 (ADBI) と共催で、高速鉄道における土木構造物の品質確保等に関する知識共有のためのワークショップが開催された。その中で、当協会の志村理事長がビデオメッセージで開会挨拶を行った。

- ① 開催月日：2023 年 5 月 11 日 (木)
- ② 開催方法：対面及びオンライン



イ. 第 8 回鉄道技術展

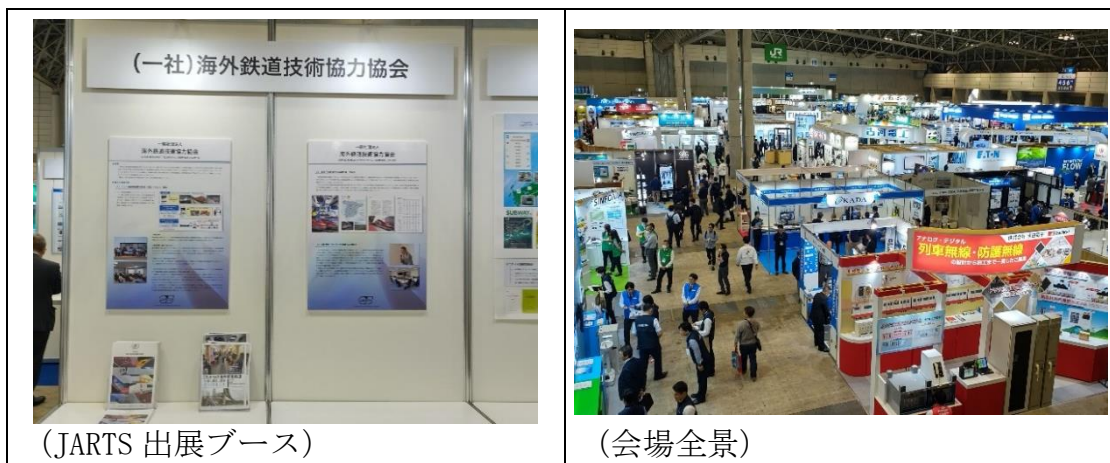
鉄道技術展は、鉄道・交通システム、インフラ技術等あらゆる鉄道分野の技術が一堂に会する総合見本市として、産経新聞社の主催、国土交通省等の後援により開催されている。

今回は COVID-19 の 5 類感染症移行後初の開催であり、出展社数 569 社、入場者数 34,878 人 (3 日間合計) となり、コロナ禍以前と変わらぬ盛況ぶりとなった。

当協会は本技術展の開催に協賛するとともに、最近の当協会の事業内容等を紹介するパネルを協賛団体紹介ブースに掲示した。

また、本技術展の併催セミナーとして開催された「JICA カントリーレポート発表会」の実施にも協力した。

- ① 開催期間：2023 年 11 月 8 日 (水) ～11 月 10 日 (金)
- ② 開催場所：幕張メッセ



(JARTS 出展ブース)

(会場全景)

ウ. 第6回インド高速鉄道（ムンバイ・アーメダバード間）説明会

インド高速鉄道（ムンバイ・アーメダバード間）について、日印首脳間での新幹線システムの導入に関する合意を受け、これまで会員等に対する説明会を実施してきた。

前回より3年が経過していることを踏まえ、今回は改めてインド高速鉄道プロジェクト実施の経緯から最新の状況等について国土交通省鉄道局よりご説明いただいた。

（第1回：平成28年2月19日、第2回：平成28年12月20日、第3回：平成29年6月28日、第4回：平成31年2月28日、第5回：2020年11月9日に開催）

- ① 開催日：2023年11月21日（火）
- ② 開催場所：ホテルメトロポリタンエドモント（飯田橋）及びオンライン
- ③ 説明者：国土交通省 鉄道局
石原洋参事官（海外高速鉄道プロジェクト担当）
- ④ 参加者：会場 78名、オンライン 109名



(国土交通省 石原洋参事官)

(会場風景)

エ. 社団法人中華軌道車輛工業發展協会との協力覚書の締結

これまで日本と台湾は鉄道プロジェクトにおける相互協力の経験が数多くあることから、その上に築かれた信頼関係を基礎にフィリピン等の第三国市場に対し日台間で協同してプロジェクトに取り組むことができる可能性があるとして、鉄道業界内での日台間の交流等を強化することを目的に、台湾側より中華軌道車輛工業發展協会（CRIDA）と当協会が協力覚書（MOC）を締結したいとの申し出を受けた。

当協会は、定期交流会やセミナー等を開催して相互交流を深めたいという先方の趣旨に合意し、2023年12月5日に日台双方の鉄道関係者が参加して実施された日本台湾交流協会及び台湾日本協会の主催する実務者協議において、第三国市場に関するMOCを締結した。

【CRIDA 概要】

設 立：1997年

主 旨：政府に協力し、軌道車両事業及び科学技術の発展等を促進する

会 員：軌道車両事業等に従事する事業者、学術研究機関等

主な活動：会員と政府機関や鉄道事業者との協議への協力、鉄道プロジェクトの調達案件及び国内企業への技術移転に係る協力、鉄道産業に関する最新動向の情報提供、海外の鉄道産業関連組織との交流促進、など



オ. 新春特別講演会

総合テーマを「日本の鉄道システムの海外展開について」として、鉄道の海外展開と国際協力の推進における有識者の特別講演を、会場での対面及びオンラインで実施した。

なお会場では、講演会終了後に講師 2 名にもご参加いただき、関係者や JARTS 会員等との懇親会を開催した。

- ① 開催日：2024 年 1 月 16 日（火）
- ② 開催場所：ホテルメトロポリタンエドモント（飯田橋）及びオンライン
- ③ 講演内容：国土交通省 国際統括官 田中由紀 氏
住友商事（株） 交通・輸送インフラ事業部長 西尾英之 氏
- ④ 参加者：会場 144 名、オンライン 98 名



カ. JICA-NHSRCL-ADBI-JARTS Knowledge Sharing Workshop

アジア開発銀行研究所（ADBI）と共催で、2023 年 5 月に実施された土木構造物に引き続き、鋼橋（スチール・ブリッジ）の品質確保等に関する知識共有のためのワークショップを開催した。

今回は JICA や NHSRCL（インド高速鉄道公社）の協力も得て実施され、その中で、当協会の志村理事長がビデオメッセージで開会挨拶を行った。

- ① 開催月日：2024 年 2 月 20 日（火）
- ② 開催場所：インド・ニューデリー及びオンライン

キ. 鉄道システムの海外展開促進に向けた調査報告会

日本の鉄道の海外展開や国際協力を推進するため、国土交通省の協力を得て、令和5(2023)年度に同省が実施した委託調査の報告会を開催した。

① 開催日：2024年3月14日(木)

② 開催場所：法曹会館

③ 報告内容：

(1) 海外の都市鉄道案件における車両メンテナンスの効率化の検討業務

(2) 令和5年度フィリピン・インドネシア地方主要都市等における都市交通整備計画に関する調査

(3) タイ鉄道市場における日本企業参画の可能性に関する調査

(4) ベトナム南北線における諸課題に対する解決策の検討業務

(5) 中東及びアフリカにおける都市鉄道に関する調査

(6) 我が国鉄道技術・サービスの海外への情報発信業務

(7) 本邦企業による海外の鉄道運営・保守事業への参画における課題への対応策に関する検討業務

④ 参加者：129名



(国土交通省 堀信太郎国際課長)



(会場風景)

(2) 日本の鉄道システム情報発信事業

ア. 人材育成

(ア) 鉄道海外展開セミナー

鉄道の海外展開に必要な知識・情報の提供を目的に、有識者による講義を中心としたセミナーを、オンラインを活用して開催した。終了

後に今後のセミナー運営の参考とするため、アンケート調査を実施した。

① 第38回鉄道海外展開セミナー

・開催月日：2023年8月30日（水）

・開催方法：オンライン

・講演内容：

講演 「鉄道決済におけるソニーの海外展開について」

講師 ソニー株式会社

セキュアテクノロジー&ソリューション事業部
事業開発部 2Gp

シニアビジネスデベロップメントマネジャー

近藤 淳 氏

・参加者数：101名



(イ) 海外展開・国際協力関係基礎研修

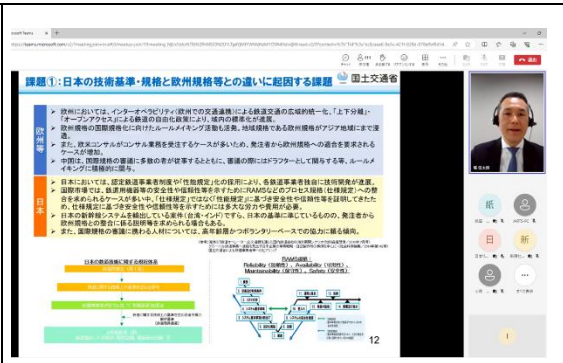
鉄道海外展開事業に従事する人材の裾野を広げるべく、鉄道の海外事業における基礎的な内容を「海外展開・国際協力関係基礎研修」として、これから海外展開事業に携わる方や海外業務に関心のある会員等を対象にオンラインで実施した。

今回は、例年行っている海外鉄道事業の意義と取組みや国土交通省による日本の鉄道システムの海外展開状況、JICAによる国際協力の概要と取組みという、現状を踏まえた鉄道の海外展開事業に関する基礎的な講義に加え、参加者から希望の多かった国際標準やFIDIC契約約款、世界の鉄道経営の現況に関する基礎知識を学ぶ講義も実施した。

- ① 開催期間：2024年2月14日（水）、21日（水）
- ② 開催方法：オンライン
- ③ 参加者：138名



(講師 秋山芳弘氏)



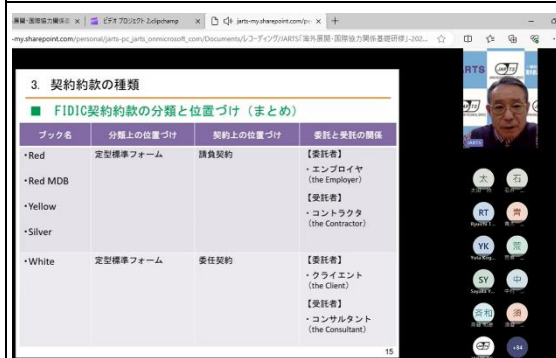
(講師 MLIT 堀信太朗国際課長)



(講師 JICA 荻原信太郎副調査役)



(講師 RTRI 北川敏樹国際規格センター長)



(講師 伊藤技術士事務所伊藤信康氏)



(講師 東洋大学黒崎文雄教授)

イ. 人材交流

(ア) 留学生のための新幹線サマーセミナー

日本への留学生に対し、新幹線システム全体について幅広く総合的な研修を東京大学、政策研究大学院大学の主催、JR 東海と JR 東日本、当協会の共催により実施した。

専門家や実務担当者による総合的な講義に加えて、鉄道施設等の視察なども行った。

- ① 開催期間：2023年9月14日（木）～9月15日（金）
- ② 参加者：40名（22カ国）
- ③ 主催：東京大学、政策研究大学院大学
- ④ 共催：JR東海、JR東日本、JARTS
- ⑤ セミナー概要：

講義

セッション1～日本の新幹線整備～

- ・東京大学 加藤浩徳教授
- ・鉄道・運輸機構 国際部国際協力課 柳田直生主任

セッション2～新幹線の技術とこれから～

- ・JR東日本 国際事業本部企画・国際交流部門 田中倫子チーフ
- ・JR東海 中央新幹線推進本部リニア開発本部 関知明担当部長

現地視察

- ・総合研修センター（JR東海）
- ・浜松工場（JR東海）



(講義風景)



(視察風景)

(イ) JICA 都市鉄道研修カントリーレポート発表会

例年、JICA 課題別研修「都市鉄道の運営」では、各国の鉄道関係者が研修員として来日して約1ヶ月間の研修が行われている。

本研修における「カントリーレポート発表会」は、各研修員の自国の鉄道の現況や課題を発表する内容であり、11月8日～10日に開催された第8回鉄道技術展の併催セミナーとして2日間に分けて実施され

た。

当協会では、本発表会が海外の鉄道に関する情報を知る貴重な機会であることも鑑みて会員の参加を促すとともに、参加者と研修員の交流が促進されるよう JICA と連携を図った。

- ・開催日：2023年11月9日（木）、10日（金）
- ・開催場所：幕張メッセ
- ・参加国：インドネシア、エジプト、パナマ、チュニジア、ベトナム、タンザニア、ケニア、バングラデシュ、インド、フィリピン（10カ国17名）



（会場風景）



（発表風景）

（ウ） JICA 都市鉄道研修アクションプラン発表会

例年、JICA 課題別研修「都市鉄道の運営」では、各国の鉄道関係者が研修員として来日して約1ヶ月間の研修が行われている。

本研修は JARTS 会員にとって海外の鉄道に関する情報を知る貴重な機会であると鑑み、当協会では JICA と連携し、各研修員の自国の鉄道の現況や課題を発表する「カントリーレポート発表会」に引き続いて、研修後の所感や自国の鉄道が持つ課題に対する展望等の発表を行う「アクションプラン発表会」について会員に聴講の場を設けた。

- ① 開催日：2023年11月30日（木）、12月1日（金）
- ② 開催方法：オンライン
- ③ 参加国：インドネシア、エジプト、パナマ、チュニジア、ベトナム、タンザニア、ケニア、バングラデシュ、インド、フィリピン（10カ国17名）



ウ. 海外展開・国際協力のためのツールの整備

(ア) 「最新 世界の高速鉄道」の発刊

当協会が2014年に発刊した「新幹線と世界の高速鉄道」を、関係箇所の協力も得て改訂を行い、「最新 世界の高速鉄道」として2023年6月に発刊した。



(イ) 日本の鉄道の海外発信のためのツールの整備

日本の鉄道の海外展開推進のため、日本の技術資料等の英訳化の準備作業を実施している。

また、英訳図書・文献選定委員会を設置し、今後新たに英訳化すべき図書の選定についても検討を行っている。

(3) 海外鉄道に関する情報収集事業

ア. インド高速鉄道及び IREE2023 視察ツアー

IREE (インド国際鉄道展示会) 2023 の開催に合わせて、同展示会やインド高速鉄道プロジェクトの現場視察等を行うツアーを企画し、6日間の日程で実施した。

- ・実施期間：2023年10月9日(月)～14日(土)
- ・視察場所：スーラト、デリー



(高速鉄道現場)

(IREE 2023)

イ. KISS-RAIL 2.0 改定事業

2005年2月にアジア地域の都市鉄道整備の円滑な推進を図ることを目的として、都市鉄道の整備から運営までを網羅し、わかりやすく解説したテキストとして作成されたKISS-RAIL (Keys to Implement Successfully Sustainable Urban Railways) の改定版「KISS-RAIL 2.0」を2020年5月に発刊し、会員をはじめ一般販売でも好評を博している。

現在は現地語版の制作を計画しており、2021年度はベトナム語版、2022年度はインドネシア語版が完成した。引き続きタイ語等での発行の計画を進めている。

(4) 会誌発行等情報提供事業

ア. 資料電子化

当協会が所有する過去プロジェクト報告書等資料について、電子化を実施している。

イ. 会報誌発行

日本の鉄道の海外展開や国際協力に係る情報交換、情報提供等を行うため、国や関係機関等による最新の鉄道事情の紹介をはじめ、鉄道に関するさまざまな情報を集約した会報を発行した(248号:2023年5月発行「特集1 JARTSの将来像について」、249号:2023年8月発行「特集1 JARTSの人材育成・マッチング事業への取組みについて」、250号:2024年1月発行「特集1 インド高速鉄道における最新の状況」)。



248号 (2023年春号)



249号 (2023年夏号)



250号 (2024年冬号)

(5) インド高速鉄道軌道技術教育訓練・認証事業

ア. 教材作成進捗状況

インド高速鉄道（ムンバイ・アーメダバード間）の軌道工事に関するT&C（教育訓練・認証）事業について、全15コースの教材（T&C Teaching Material）を2023年12月27日までにインド側へ送付済となった。教材（日英）の総ページ数は約1700ページ、動画教材は10本となっている。

認証基準（認証チェック、ファイナルチェック）及び補助教材については、引き続き和文作成、英訳、NHSRCLの確認を経て、教育訓練開始までに最終化・提出している。

イ. 教育訓練進捗状況

IRCON（T-2パッケージ）及びL&T（T-3パッケージ）について、両社ともEA溶接技術者コースを除く14コースの申込みと支払いが済んでいる。

最初の教育訓練（軌道工事管理者コース）を2023年4月25日から開始してから、年度内に15コース・149セッション中、8コース・33セッションが実施済（約22%）となっている（T-1パッケージ分を除く）。



(コンクリート道床の建設訓練)



(軌道敷設位置を決めるための測量訓練)

(6) インド高速鉄道信号通信技術支援事業

インド高速鉄道（ムンバイ・アーメダバード間）の信号通信工事に関する技術支援（STTS）事業を行うため、2024年3月1日に信号通信技術支援準備室を発足させた。

(7) 人材育成・マッチング事業

両事業の内容の検討を行うため、「人材育成・マッチング委員会」（政策研究大学院大学 森地茂委員長）を発足させた。第1回委員会を2023年7月25日、第2回委員会を2024年1月18日、第3回委員会を2024年3月4日に実施し、最終報告書を取りまとめた。



(森地茂 委員長)



(委員会の様子)